

DBJの女性起業家支援の取り組み

2022年 10月 13日

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

企業金融第6部
女性起業サポートセンター

目次

■ プロフィール	P.02
■ DBJの企業理念	P.03
■ 会社情報	P.04
■ Section1. 女性起業サポートセンターの業務内容	P.08
■ Section2. DBJ新ビジネスプランコンペティションについて	P.12
■ Section3. 女性活躍を取り巻く概況等	P.18

著作権 (C) Development Bank of Japan Inc. 2022
当資料は、株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) により作成されたものです。

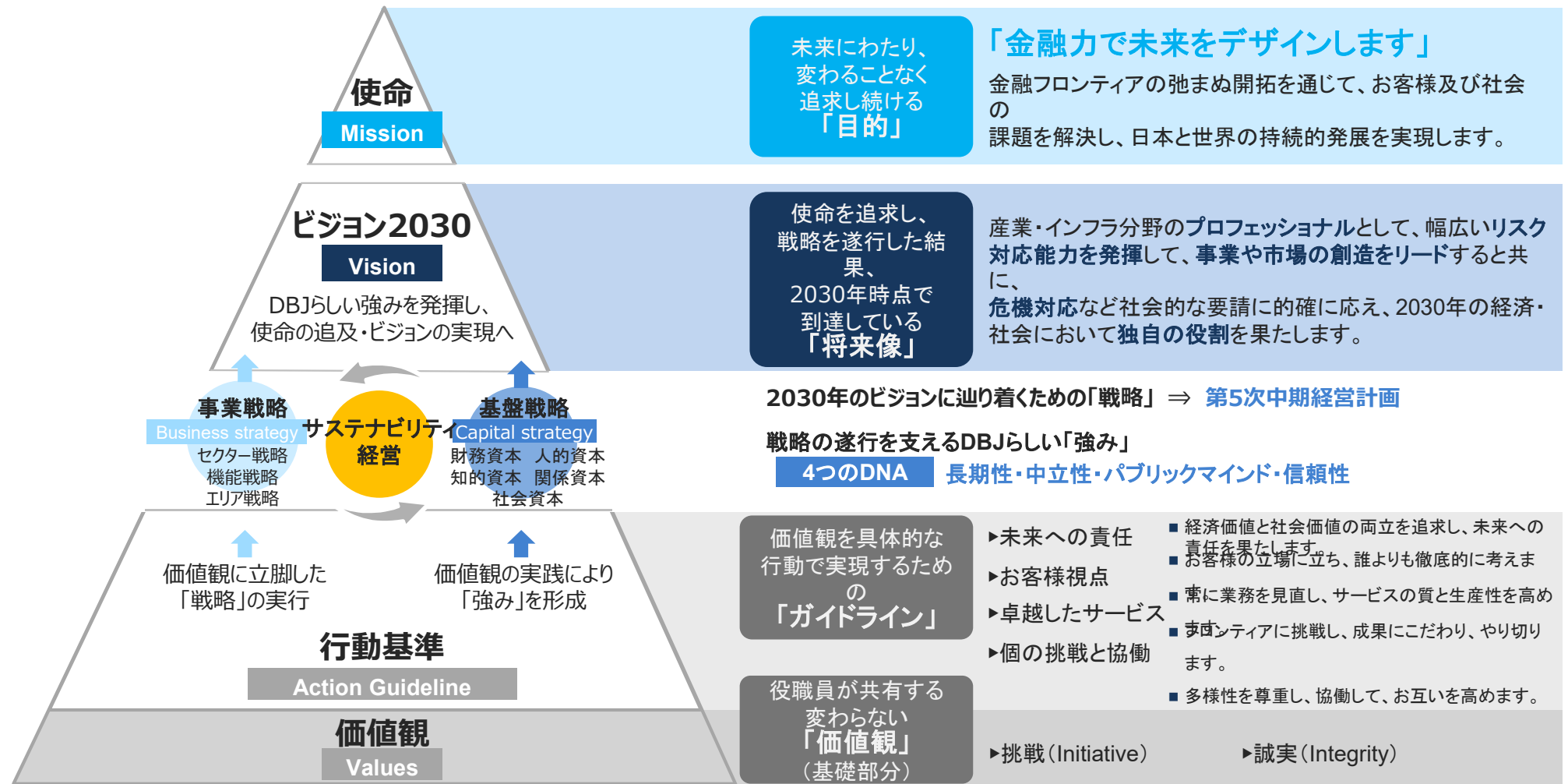
本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引などを勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願いいたします。

本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡ください。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず『出所：日本政策投資銀行』と明記してください。

設立	2008年（平成20年）10月1日（旧日本開発銀行 1951年（昭和26年）設立） （旧北海道東北開発公庫 1956年（昭和31年）設立） （旧日本政策投資銀行 1999年（平成11年）設立）
代表取締役社長	地下 誠二
職員数	1,257名
資本金	1兆4億24百万円（全額政府出資）
本店所在地	〒100-8178 東京都千代田区大手町一丁目9番6号
URL	https://www.dbj.jp
支店・事務所等	支店10ヵ所、事務所8ヵ所、海外現地法人4ヵ所
総資産額	21兆1,884億円
貸出金残高	14兆4,907億円
総自己資本比率	16.08%（バーゼルⅢベース、国際統一基準）
発行体格付	A1 (Moody's)、A(S&P)、AA+ (R&I)、AAA (JCR)

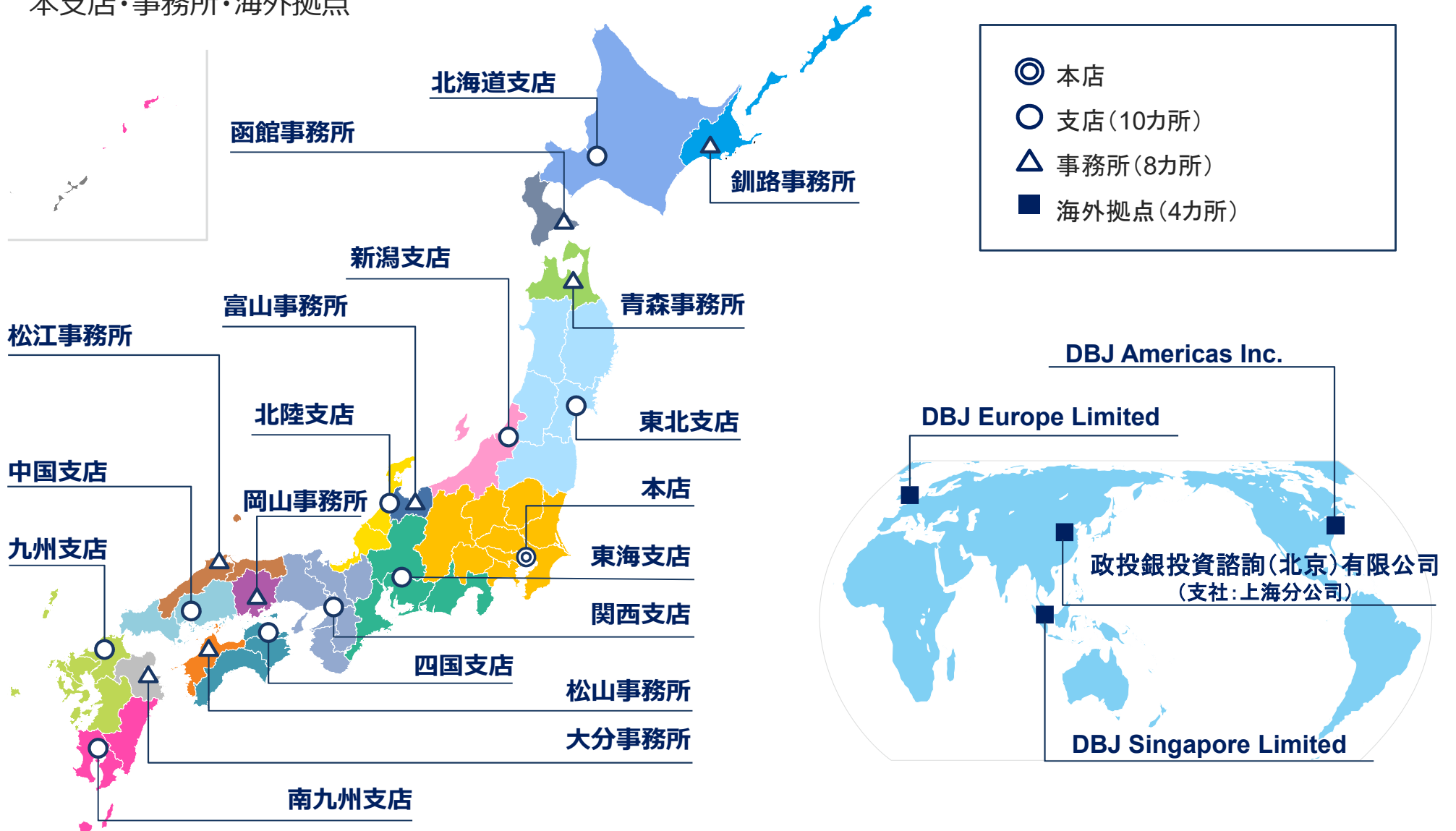
DBJグループの企業理念体系

- 今日までのあゆみに加え、今後想定される様々な環境変化や社会課題を踏まえて設定された使命(存在意義)と役職員が共有する価値観(変わらないもの)、そして2030年時点において目指すべき姿である「ビジョン2030」から構成される。
- 企業理念に基づく当行グループの強みとして、4つのDNA(長期性、中立性、パブリックマインド、信頼性)を位置付ける。



会社情報

本支店・事務所・海外拠点



会社情報

組織図



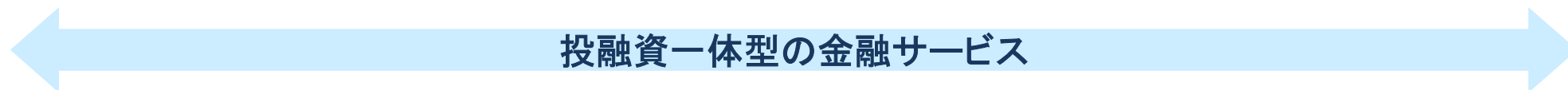
事務所：函館、釧路、青森、富山、松江、岡山、松山、大分

海外現地法人：DBJ Singapore Limited, DBJ Europe Limited, 政投銀投資諮詢（北京）有限公司, DBJ Americas Inc.

※投資管理本部は、経営企画部、業務企画部、審査部、リスク統括部、経理部等の関係部にて構成

DBJグループの金融サービス

融資部門	投資部門	コンサルティング／ アドバイザー	アセットマネジメント
<p>中長期融資やプロジェクトファイナンスなどの仕組み金融及び劣後融資の提供</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">■ 中長期融資■ ストラクチャードファイナンス■ アセットファイナンス(不動産)■ シンジケート・ローン■ ABL(資産担保融資)■ 事業再生ファイナンス(DIPファイナンス等)■ 危機対応業務	<p>メザンファイナンスやエクイティなどのリスクマネーの供給</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">■ メザンファイナンス(劣後ローン・優先株等)■ LBO/MBO■ エクイティ投資(企業、不動産、インフラ等)■ ファンド投資(LP投資等)■ 特定投資業務	<p>仕組み金融のアレンジャー、M&Aのアドバイザー、産業調査機能や環境・技術評価等のノウハウ提供</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">■ M&Aアドバイザーサービス■ 女性起業サポート■ イノベーション創造サポート■ 新規事業開発サポート■ 公有資産マネジメント	<p>多様なオルタナティブ投資における運用機会を提供</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none">■ 不動産アセットマネジメント事業■ グローバルファンド投資事業(PEファンド、インフラファンド等)



DBJグループのダイバーシティマネジメントの取り組み

- 女性を含め多様な人材が働ける職場づくりを進めるために、相互理解の促進、各人の生産性を高めることを目指した取り組みを実施
 - 産育休や時短勤務、育児参加休暇等、育児・介護等にかかる就業・休業制度の充実を図ると共に、保活・育児・介護等に関する各種専門家を招聘したセミナーを開催。
 - 「仕事と育児・介護両立支援ガイド」の作成・配布や、各種制度利用者を支えながらチームの生産性を高める管理職育成を目的とした「育ボス研修」の実施。
 - より一層の女性活躍の実現を目指し、キャリア開発に関する研修や交流イベント等を新たに企画し、継続的に取り組みを推進。
 - 在宅勤務やコアタイムありフレックス勤務等、柔軟な働き方を実現する制度により、生産性とレジリエンスを向上。

【イベント等の様子】



女性活躍・リーダーシップ育成に向けた研修イベント

【出産・育児等関連制度利用状況等】

出産・育児等関連制度利用状況、各種研修受講者数(単体)

育児休業復帰率 (2020年度内育児休業期間満了者)	22/22名(100%)
男性育児関連休暇取得率 (2020年度内に出生した子を持つ職員)	111.4%
再雇用制度登録者(2021年3月末時点)	25名
育児・介護時短勤務利用者	63名
育ボス研修参加者(累計)	約240名
保活セミナー受講者(同上)	約210名

【出典】本文、写真、図表ともに(株)日本政策投資銀行発行「統合報告書2021」より抜粋

Section1

女性起業サポートセンターの業務内容

女性起業サポートセンターの業務内容①

■ DBJ女性新ビジネスプランコンペティション

- ・2011年にDBJ（企業6部）内に女性起業サポートセンターを設置し、2012年に第1回コンペを実施。以降2020年までに計8回のコンペを開催。（2017年から、女性センター業務を（一財）日経研と協働）
- ・第9回コンペを2022年度に開催。

【コンペ開催実績（表彰式）】

第1回	2012/6
第2回	2013/6
第3回	2014/6
第4回	2015/6
第5回	2016/6
第6回	2017/11
第7回	2019/3
第8回	2020/7

● 実施概要



DBJでは、実現可能性が高く、
事業を通して社会貢献が見込まれ、
また経営者の資質にも優れた新ビジネスを対象に、
女性新ビジネスプランコンペティションを実施します。

受賞者には、**最大1,000万円の事業奨励金が支給**されます。
また、本コンペティションの終了後には、受賞者の必要に応じ、
外部の起業経験者や各種知見を有する方々と連携したサポート体制により、
起業ノウハウのアドバイス等、**計画実施のための事後支援を行います。**



女性起業サポートセンターの業務内容②

■ DBJ女性ビジコンファイナリストに対する事後支援業務

- ・受賞者に対し、受賞後1年間にわたる外部専門家を招聘したメンタリング（事業計画策定、中長期的なゴールを設定したプログラム等）を実施。
- ・DBJ金融アカデミーへなど研修プログラムへの参加機会を提供。
- ・DBJ取引先の紹介やDBJ取引先会への招待（講演依頼）など、ビジネスマッチングの機会を創出。
- ・2021年度からは、過去の全ファイナリストを対象としたオンライン座談会（任意参加、フリーディスカッション形式）を開催、DBJコンペOGに対し縦横の繋がり場の場を提供。

【メンタリングの様子】



【オンライン座談会の様子】



女性起業サポートセンターの業務内容③

■ 女性起業支援にかかるセミナー主催・共催、各種イベントへの講師登壇等

- ・女性起業等に関する各種セミナーの主催や、地銀等との共催イベントの実施（DBJコンペファイナリストによる講演あり）。
- ・センター長などセンターメンバーが、外部イベントの講師やモデレータとして登壇。
- ・外部の女性起業支援イベントにかかる審査委員に就任。

【過去3か年におけるイベント開催実績】

時期	名称	共催	開催地
2018/8	第7回女性新ビジネスプランコンペティションOPセミナー	—	東京
2018/9	「女性活躍・起業応援シンポジウムin SENDAI」共催	七十七銀行	宮城
2019/7	「いよぎんみらい起業塾 女性起業家支援セミナー」共催	伊予銀行 他	愛媛
2019/9	女性起業家支援セミナー「STARTUP セミナー★for WOMEN」共催	きらぼし銀行 他	東京
2019/10	「Woman Startup Seminar in Sendai」共催	七十七銀行	宮城
2019/12	第8回女性新ビジネスプランコンペティションOPセミナー	—	東京
2020/11	女性起業家支援セミナー「STARTUP セミナー★for WOMEN」共催	きらぼし銀行 他	東京
2021/3	DBJ-iHub & SHIBUYA QWS共催イベント「女性起業家が創り出す「新しい」未来とは？」共催	SHIBUYA QWS	東京

女性起業家、次世代女性経営者、これから起業をお考えの方向け
WEBINAR (Zoomウェビナーによるオンラインセミナー)

for WOMEN

STARTUP Seminar

2020.11.25 Wed
14:00 - 15:50 (入場 13:50~)

定員 90名
参加費 無料
満員になり次第受付終了

PROGRAM

第1部 基調講演
第2部 基調講演登壇者3名によるパネルディスカッション
モデレーター: 株式会社きらぼし銀行 副支店長 斎藤 幸子 氏

主催
・株式会社きらぼし銀行
・株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
・株式会社日本政策投資銀行

共催
・一般財団法人日本経済研究所

申込方法
以下のURLもしくは右記QRコードからお申込みください。
なお、お申込みには会員登録（無料）が必要です。
<https://www.jeri-wec.jp/top/>

お問い合わせ
・きらぼし銀行連携推進部 03-6447-5844 (星・光倉・宮坂)
・一般財団法人日本経済研究所 DBJ女性起業サポートセンター 03-6214-3606 (代表)
・お問い合わせフォーム <https://www.jeri.or.jp/wec/contact/>

受付時間: 平日9:00 - 17:00

DBJ-iHub & SHIBUYA QWS共催
女性起業家が創り出す「新しい」未来とは??

2021.3.16 14:00-16:00

DBJ 日本政策投資銀行
DBJ Innovation Hub
SHIBUYA QWS

Section2

DBJ新ビジネスプランコンペティションについて

過去のコンペ開催実績と受賞者一覧

	表彰式	受賞者
第1回	2012/6	【DBJ女性起業大賞】(株)エムスクエア・ラボ 加藤 百合子 (静岡県) 【DBJ女性起業優秀賞】(株)ソアラサービス 牛来 千鶴 (広島県) 【DBJ女性起業震災復興賞】(有)オйкаワデニム 及川 秀子 (宮城県)
第2回	2013/6	【DBJ女性起業大賞】ロイヤルブルーティージャパン(株) 吉本 桂子 (神奈川県) 【DBJ女性起業優秀賞】(株)西日本冷食 日野 美貴 (福岡県) 【特別賞 High Spirits賞】(株)Andu amet 鮫島 弘子 (東京都)
第3回	2014/6	【DBJ女性起業大賞】Material Wrld, Inc 矢野 莉恵 (ニューヨーク州) 【DBJ女性起業優秀賞】(株)Waris 田中 美和 (東京都) 【DBJ女性起業震災復興賞】(一社)WATALIS 引地 恵(宮城県)(株)気仙沼ニッティング 御手洗 瑞子(宮城県) 【特別賞 地域イノベーション賞】(株)ファーマンステーション 酒井 里奈 (岩手県)
第4回	2015/6	【DBJ女性起業大賞】(株)和える 矢島 里佳 (東京都) 【DBJ女性起業優秀賞】(株)BBSTONEデザイン心理学研究所 日比野 好恵 (千葉県) 【DBJ女性起業地域みらい賞】(株)GHIBLI 坪内 知佳 (山口県)
第5回	2016/6	【DBJ女性起業大賞】Kay me(株) 毛見 純子 (東京都) 【DBJ女性起業優秀賞】上羽絵惣(株) 石田 結実 (京都府) 【DBJ女性起業地域みらい賞】(有)成美 岩切 知美 (大分県) 【DBJ女性起業事業奨励賞】(株)タウンクリエイション 前 紅三子 (広島県)
第6回	2017/11	【DBJ女性起業大賞】(株)クラウドクリニック 川島 史子 (東京都) 【DBJ女性起業優秀賞】ナノティス(株) 坂下 理紗 (東京都) 【DBJ女性起業ソーシャルデザイン賞】スリーラインズ(株) 山内 満子 (愛媛県) 【DBJ女性起業事業奨励賞】(株)RICCI EVERYDAY 仲本 千津 (静岡県)
第7回	2019/3	【DBJ女性起業大賞】(合)巻組 渡邊 亨子 (宮城県) 【DBJ女性起業優秀賞】WAmazing(株) 加藤 史子 (東京都) 【DBJ女性起業ソーシャルデザイン賞】Community Nurse Company(株) 矢田 明子 (島根県) 【DBJ女性起業事業奨励賞】(株)INGEN 櫻井 杏子 (千葉県)
第8回	2020/7	【DBJ女性起業大賞】【最優秀ソーシャル・デザイン賞】(株)137 黒田 千佳 (東京都) 【最優秀グロース・ポテンシャル賞】(株)Singular Perturbations 梶田 真実 (東京都) 【最優秀リージョナル・インパクト賞】(一社)旅の葉 榎本 峰子 (徳島県)

第1～第8回女性ビジコンへの応募状況

■ 応募総数 2,578件

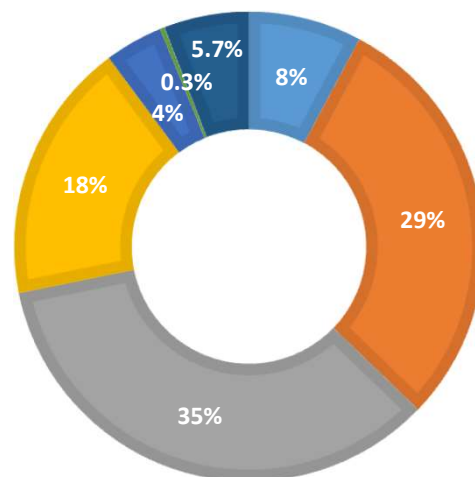
(第1回643件、第2回176件、第3回308件、第4回406件、第5回318件、第6回270件、第7回214件、第8回243件)

■ 地域別

地域名	件数
北海道	68
東北	142
関東・甲信	1,471
うち東京都	966
北陸	55
東海	148
近畿	334
中国	86
四国	50
九州・沖縄	204
海外	20
総計	2578

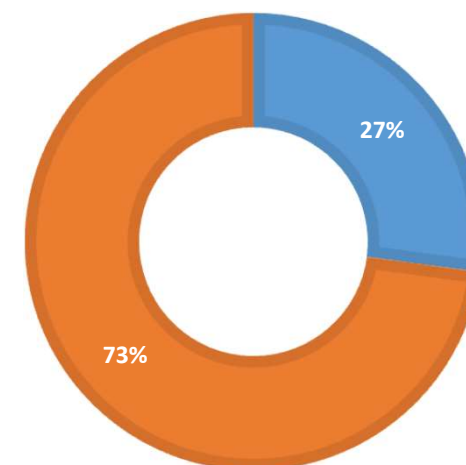
■ 年齢別

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 不明



■ 他コンペの応募経験

■ あり ■ なし



第9回DBJ女性ビジコンについて①

◇第9回コンペは、開催コンセプトや審査体制を一新し、2022年度に実施します。

第9回コンペの概要は以下の通りです。

1. 開催目的	身近な地域における社会課題の解決を契機としつつ、広く日本またはグローバルの未来に向けた課題解決に資するものであって、今後の発展性が期待される女性によるビジネスを、成長事業として育成することを通じ、わが国の持続的発展に貢献すること。
2. 募集対象	女性経営者による事業であって、以下に合致するビジネスプラン ・原則として創業6年程度までのもの（第二創業含む） ・個人または法人（法人の場合は中小企業基本法上の中小企業） ・事業基盤が海外の場合は、日本経済・社会への貢献が期待できるもの
3. 審査基準	① 経営者の資質 経営者としてのビジョン・情熱、組織を率いるリーダーシップを有するか ② 市場性／実現可能性 市場ニーズの適切な捕捉、事業特性を踏まえた実現性あるビジネスプランか ③ SDGsへの適合 SDGsの定める17の目標のいずれかに適合するか ④ 広い視野での課題解決 地域の課題解決を契機とし、日本全体／グローバルな課題解決に横展開が可能か ⑤ 新規性／成長性 新たな発想・技術・サービスにより新たな市場・ニーズを掘り起こせるか、事業の拡大・成長が見込まれるか、成長に耐える適切な組織体制計画があるか、

第9回DBJ女性ビジコンについて②

4. 表彰等	<p>① 受賞・事業奨励金 DBJ女性起業大賞 最大1,000万円 1件 ※審査の結果、大賞は「該当なし」とする場合あり ※大賞に準ずる優れたプランを若干数表彰することあり（最大500万円/件）</p> <p>② 事後支援 受賞者には、起業経験や事業に関する知見等を有する外部専門家の協力を得ながら、受賞者の事業を成功に導くための事後支援の権利を、受賞後1年間付与（ビジネスプランのブラッシュアップ、有識者紹介、協力会社発掘協力等）</p>
5. 審査方法	<p>1次審査（書面）、2次審査（面接）、最終審査（プレゼン・質疑応答）を実施</p> <p>① 1次審査【事務局審査】 ※第8回実績 250件程度 ・応募書類について書面審査を実施</p> <p>② 2次審査【事務局審査】 ・1次審査を通過者に対し、面接審査を実施</p> <p>③ 最終審査【審査委員審査】 ※第8回実績 8件 ・審査委員の前で、応募者本人によるプレゼンテーションおよび質疑応答 ・審査委員による最終審査・評価を実施</p> <p>④ 審査結果発表・表彰式 ・表彰式会場にて、公開可能な内容にてプレゼンテーションを実施（審査対象外） ・公開プレゼンテーション終了後、審査結果発表、表彰、審査講評を実施</p>

第9回DBJ女性ビジコンについて③

6. スケジュール	2022年4月～6月3日 6月下旬 7月～8月 11月以降	ビジネスプラン応募受付 1次審査 2次審査 最終審査会、表彰式
-----------	----------------------------------------	------------------------------------------

Section3

女性活躍を取り巻く概況等

女性活躍を取り巻く概況(国等の取り組み「女性版骨太の方針2022」-①)

女性版骨太の方針2022(女性活躍・男女共同参画の重点方針2022)説明資料

令和4年6月3日
すべての女性が輝く社会づくり本部
男女共同参画推進本部決定

- 我が国の男女共同参画の現状は、諸外国に比べて立ち遅れ。
 - 昭和の時代に形作られた各種制度や、男女間の賃金格差を含む労働慣行、固定的な性別役割分担意識など構造的な問題。
 - 人生100年時代を迎え、女性の人生と家族の姿は多様化しており、もはや昭和の時代の想定が通用しない。
- ⇒「第5次男女共同参画基本計画」を着実に実行するため、令和4年度及び5年度に重点的に取り組むべき事項を定める。



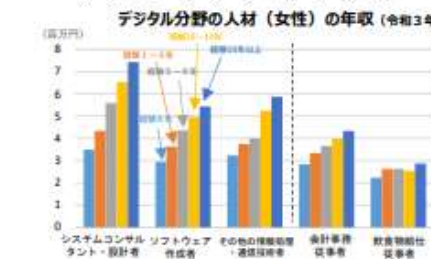
男女の寿命(令和2年)

	女性	男性
90歳時生存割合	52.6%	28.1%
95歳時生存割合	27.9%	10.5%
平均寿命	87.71歳	81.56歳
死亡年齢最頻値	93歳	88歳

I 女性の経済的自立

(1) 男女間賃金格差への対応

- 社内格差(垂直分離)
 - ①男女間賃金格差に係る情報の開示
 - 令和4年夏に女性活躍推進法の制度改正を実施、常用労働者301人以上の事業主に対し、男性の賃金に対する女性の賃金の割合を開示することを義務化。有価証券報告書についても同内容の開示を義務付け。
 - ②非正規雇用労働者の賃金の引上げ(同一労働同一賃金の徹底)
 - 企業に対して、労務管理の専門家による無料相談や先進的な取組事例の周知等を実施。労働局による助言・指導等による法の履行確保。
- 職種間格差(水平分離)
 - ①女性デジタル人材の育成
 - 女性デジタル人材育成プランに基づき、就労に直結するデジタルスキル¹⁾の習得支援及びデジタル分野への就労支援を3年間集中的に推進。
 - ②看護、介護、保育などの分野の現場で働く方々の収入の引上げ
 - 令和4年2月から実施している賃金の引上げ措置について、令和4年10月以降も継続して実施。
 - ③リカレント教育の推進
 - 大学等において、デジタルリテラシーの育成やDX推進のためのリスキリングを目的としたリカレント講座を開発・実施。



【出典】内閣府男女共同参画局HP (<https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/sokushin.html>)

女性活躍を取り巻く概況(国等の取り組み「女性版骨太の方針2022」-②)

IV 女性の登用目標達成(第5次男女共同参画基本計画の着実な実行)

(1) 政治分野

	女性ゼロ 議会数	議会数	女性ゼロ 議会比率
都道府県議会	0	47	0.0%
市区町村議会	275	1741	15.8%
市議会	24	792	3.0%
特別区議会	0	23	0.0%
町村議会	251	926	27.1%

※令和3年12月

- 政治分野におけるハラスメント防止のための研修教材について、各議会等における積極的な活用を推進するとともに、令和4年度以降、その活用状況等について、定期的に把握し、「見える化」を図る。

(2) 行政分野

- 能力及び実績による人事管理を前提としつつ、従来の人事慣行を見直し、女性職員の職域の拡大に取り組む。
- コロナ前の働き方に戻さないよう、テレワーク等の柔軟な働き方を推進。令和4年度内にフレックスタイム制の見直し等による勤務時間の弾力化や勤務間インターバルの確保の在り方についても検討。

(3) 経済分野



- 「女性役員情報サイト」において、プライム市場上場企業を始め、市場ごとの女性役員がない企業の状況や女性役員比率ランキングを掲載。
- 令和4年度に全国の商工会及び商工会議所における役員の種別ごとの女性割合を一覧化して「見える化」。
- 公共調達において企業等を加点点評価する取組について、取組状況の更なる「見える化」を行い、各機関における取組を底上げ。

- コース別雇用管理を行う企業に対し、より柔軟な運用に向けた見直しを行うよう周知啓発。転換制度を設けていない企業へ制度を設けるよう働きかけ。

(4) 科学技術・学術分野

- 給付型奨学金や授業料等減免の制度について、理工系や農学系の分野に進学する女子学生を対象とした官民共同の修学支援プログラムを創設。
- 入学後の専攻分野の決定(レイトスペシャライゼーション)や、入学後の専攻分野の転換、編入学など早期に文理選択を行う必要のない環境の構築。
- 女子割合の少ない分野の大学入学者選抜における女子学生枠の確保等に積極的に取り組む大学等に対し、運営費交付金や私学助成による支援強化。
- 大学への資源配分において、学長、副学長及び教授における女性登用に對するインセンティブを引き続き付与。

(5) 地域における女性活躍の推進

- 農業委員や農業協同組合役員等における女性割合の向上
 - 農業委員や農業協同組合、森林組合、漁業協同組合の役員及び土地改良区等の理事に占める女性の割合の向上や女性登用ゼロからの脱却に向けて、地方公共団体、農林水産団体等に対し働きかけ。
- 防災分野
 - 都道府県防災会議や市町村防災会議の委員に占める女性の割合の引上げに向けて、防災・復興ガイドラインに基づく取組を全国各地に展開。
 - 消防吏員や消防団員、自衛官、地方警察官など防災の現場等における女性割合の目標達成に向けて、女性の参画拡大の環境整備。
- 校長・教育委員会等における女性割合の向上
 - 校長、副校長及び教頭の女性割合について、教育委員会に対して、目標設定を促すとともに令和4年度中にフォローアップ。各学校法人にも、令和4年度中に分かりやすい情報公開を促す。
 - 女性教育委員がない教育委員会に対し助言を行い、結果を公表。

(6) 国際分野

- 在外公館の各役職段階に占める女性の割合(令和3年7月現在:公使、参事官以上7.5%、特命全権大使、総領事4.7%)を令和7年までに引き上げる目標(公使、参事官以上10%、特命全権大使、総領事8%)を着実に達成。
(省内公募の活用、管理職や管理職候補への中途採用や民間登用の推進等)

【出典】内閣府男女共同参画局HP (<https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/sokushin.html>)

これからの「女性活躍」に必要なこと・方向性（私見）

■ 「女性活躍推進」全般

- ✓ 違いを尊重して受け入れ、理解し、積極的に活用する。（まずは対話と思いやりから）
- ✓ 「アンコンシャス・バイアス」を排し、多様な人の多様な働き方を容認・支援。
- ✓ 効率化、パフォーマンス向上等全構成員が生産性高く働くことができる環境の整備。

■ 「女性起業家支援」全般

- ✓ 起業家における女性比率は依然低位。新しい社会課題の解決や新たな市場開拓など女性起業家増加のメリットは大きい。
- ✓ ネットワーク・コミュニティへのアクセス等女性起業家にも開かれた環境の整備。

各種環境の充実している青森県、地方圏では、女性活躍のポテンシャルあり

ご静聴ありがとうございました